

果樹病虫害発生予察調査結果（5／24調査分）
（三条、加茂、田上地域）

5月24日に実施した予察調査結果についてお知らせいたします。

（共通）

- クワシロカイガラムシ第1世代のふ化が、一部で始まっています。近日、ふ化盛期を迎えると考えられますので、各園地のふ化状況を確認し、適期防除に努めましょう。
- ナシマルカイガラムシ第1世代のふ化盛期が6月7日頃と予測されています。
- カイガラムシ類は、受粉樹にも寄生が多く見られるため、丁寧に薬剤を散布しましょう。

（ナシ）

調査地点ごとに5新梢、100果を調査しました。

- 一部で、花腐細菌病の発生が新梢等に確認されています。り病枝は切除し、園外で処分しましょう。
- 黒星病の発生は一部に留まりましたが、5月16日～17日の強風で感染危険度が高まっています。今後の多発に注意し、り病葉・り病果を発見したら摘み取り、園外で処分しましょう。
- 一部で、セイヨウナシ褐色斑点病の発生が確認されています。今後1か月間は特に注意が必要ですので、散布間隔を空けない薬剤防除や摘葉等を行うとともに、果実感染を防止するために**6月10日頃までに袋かけ**をお願いします。
- アブラムシ類の寄生が一部で確認されています。薬剤がかかりにくい部分で発生しやすいことから、散布ムラや死角に注意した丁寧な散布を心掛け、SS走行路や新梢管理に留意しましょう。

(モ モ)

調査地点ごとに5新梢、100葉そう、100果を調査しました。

- **せん孔細菌病**は全調査園地において、新梢葉の一部への発病が確認されています。今後の強風や降雨で感染が拡大しやすいので、り病した枝や葉は切除し、園外で処分するとともに、**袋かけや枝誘引も早期**に行いましょう。
- 一部で、**ナシヒメシンクイ**による新梢先端部の芯折れが確認されています。被害部位を確認したら切除し、園外で処分しましょう。
- 一部で、**モモハモグリガ**による葉の食害が確認されています。適期防除に留意し、今後の発生を抑制しましょう。

(ブドウ)

調査地点ごとに100葉、100果房、5a内でのつるを調査しました。

- 一部で、**灰色かび病**発病葉・発病果が確認されています。り病部位は切除し、園外で処分しましょう。また、過湿状態で発生しやすいため、棚下の通風も確認しましょう。
- 今回調査では確認されませんでした。今後ハダニ類・カイガラムシ類・アザミウマ類等の発生に注意し、新梢管理や適期防除に留意しましょう。

次回調査は6月10日(月)を予定しています。

担当 : 中越支所 果樹共済係
TEL : 0258-36-8105
FAX : 0258-34-8020